

広瀬川創生プラン 令和4年度取組事業一覧



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
1	広瀬川創生プラン策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぼう	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。
4		作並かつば祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。
5		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。
6		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるように組織を拡充する。
7		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。
8	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の流域一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなみ、9月の最終土曜日に実施している。
9	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。
10		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。
11	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。
12	(特非)都市デザインワークス	水辺で乾杯	水辺での全国的な取組み「ミズベリング」のイベントであり、7月7日午後7時7分に世界の水辺で乾杯するもの。広瀬橋や大橋周辺などで開催を予定している。
13		せんたいセントラルパーク構想	社の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方 行むピクニック 巡るまち歩き 集うマーケット 知るミュージアム 食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。
14		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
15		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんたいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
16		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。
17	(特非)広瀬川の清流を守る会	広瀬川市民会議との協働	1980年広瀬川の清流を守る会(発足)、1974年仙台市が制定した「広瀬川の清流を守る条例」の市民協働の川づくりの環境保全の取り組みに共感し、「広瀬川の清流を守る会」と命名しました。2001年4月法人化、伊達政宗公による1601年仙台開府の際「仙人橋下・河水千年・民安国泰・執与堯天」(大橋擬宝珠刻書)広瀬川の流れのように永久に国も民も平穏で繁栄することを水面から願いました。本会はこの願いを礎とし広瀬川の街づくりが始まった歴史を学び、次代に繋げる活動を継続します。
18		河川清掃	本会は、発足当時から清流保全の改善を求め、小学校や地域による支流川でホタルが生息する身近な環境づくりの支援活動を行いました。当時関わった子どもが大人となり一部で引き繋がれていることを鑑み、今後も五感で感じる川体験や観察を通じ、後世に伝える人材育成の市民活動を推進します。
19		漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント	(以下主な活動) 1. 広瀬川と支流川の自然、歴史、文化を学び、広瀬川の利活用、魅力発見に関する協働 2. 1、2月を除く清掃活動(毎月第2土曜日/広瀬橋上下600m両岸)年間300~500名 3. 広瀬橋上下の清掃とコミュニティーの形成、観察(アユ、サクラマス、サケ遊上、オオハクチョウ等) 4. 五感で感じる川イベント(広瀬川八本松の親水池/夏のアユ、秋のサケ掴み、食べる) 5. 活動として (1)7月7日 笹流し・全国一斉水辺で乾杯(八本松親水池) (2)8月第3日曜 アユ祭り(八本松親水池)名取広瀬川漁協共催 (3)11月3日 サケ祭り(八本松親水池)名取広瀬川漁協共催 (4)国交省東北地方整備局「水辺・絆プロジェクト2023」活動 (5)「全国一斉水質検査」を広瀬川で実施・報告書作成 6. 市民会議並びに他団体との協働 その1 広瀬川八本松(親水護岸)と協働活動(本会/障がい者団体/国交省管理、県、市) その2 広瀬川灯ろう流し支援活動(長町・河原町商店街・町内会主催)参加3万人 7. 広瀬川フォーラム開催(随時テーマ/治水・利水・環境のバランスある川づくり) 8. 広瀬川を「五感で感じる」魅力発見に供する市民協働の推進 9. 広瀬川の適正な管理を目的とする管理権限移譲(宮城県から仙台市へ)に関する提言活動 10. 広瀬川大橋下流(左岸河川敷)を緑地公園とする協働プラン策定 11. 他団体との「広瀬川フォーラム」開催
20		広瀬川何でも相談室	
21		川づくり提言・市民協働フォーラム開催	
22	国交省「水辺・絆プロジェクト2022」採択の活動	当年度は国交省「水辺・絆プロジェクト2022」採択活動として、以下の2つの活動も実施しました。 ・笹流し・全国一斉水辺で乾杯(7/7、八本松親水池) ・第33回広瀬川灯籠流し企画支援(8/20、宮沢橋緑地)	
23	(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うので、「広瀬川で遊ぼう」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。
24	広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩としての祖先や故人を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。
25	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米<蔵の華>で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
26	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃「グリーンアップ広瀬川」	カヌーで河川清掃「グリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。
27		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバーピール必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。
28		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5月～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。
29		市民総体カヌーファンズラーム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。
30		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまともはプッチーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。
31	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2022	令和3年度開催した『関山街道の四季フォトコンテスト』を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した、お気に入りの写真を募集いたします。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。
32		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑「日暮し滝」の探訪を行います。R3.5月に完成した「作並二ツ岩散策路」も訪ねます。
33	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩く会(白沢カルデラ実働部隊)	今年で関山街道フォーラム協議会に参加して2年目になります。今まで探訪した実績のパンフレット小冊子をつくることに取り組み、1月中に完成予定です。大きな目標として白沢カルデラの痕跡探し・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指し、大きな目標を掲げ取り組みます。 具体的には以下の活動を実施予定です。 ①継続事業の予算獲得 ②白沢カルデラPR用パンフレットの作成(「古仙湖」のカンパ制作・展示は3年目に変更) ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル・写真展示会 (1)2/1～2/13 西市民センター開催 (2)3/1～3/12 広瀬市民センター開催 (3)4/4～4/16 観光交流館「ラサント」開催 (4)5/9～5/31 ニッカウキスキー開催 (5)6/10～7/1 落合市民センター開催 (6)7/12～7/23 大沢市民センター開催 (7)10/21～10/23 広瀬市民センター写真展(協力参加) ⑤小・中学校へのPR:上愛子小学校へのPR実施…野外授業の検討(来年度予定) ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等:パンフレット完成したら地域町内会連合会へのPR活動予定
34	西公園プレーパークの会	ヒロセガワプレーパーク	広瀬川の河畔に広がる自然を活かし、参加者が主体性を大切に遊ぶことのできる遊び場を実施する。自然の中で遊ぶことで、広瀬川を身近を感じ、広瀬川への愛着を感じてもらえる場とする。河川敷は乳幼児親子や小学生が個人的に遊ぶにはハードルが高い場所であるため、安全管理も配慮しつつ、遊びを支えるためのスタッフを配置する。
35	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のプログラム、水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム(火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム、プラスα (マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ:主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)
36	仙台商工会議所青年部	Art Standing in SENDAI	2022年10月24日から11月6日まで制作期間として、近隣の小中学生と一緒に広瀬川の擁壁に壁画アートを実施致します。11月13日には完成お披露目会と併せて当日参加可能なワークショップを準備し、仙台市民が広瀬川の河川敷とARTに触れる機会を創出いたします。
37	つながりんぐ 太白区中央市民センター	ぼくらが広瀬川～広瀬川を遊びつくせ！ 広瀬川の魅力再発見～	「つながりんぐ」は、太白区でボランティア活動に取り組む若者のサークルです。今年は環境に関する活動に積極的に取り組んでいる、東北工業大学「環境サークルたんぽぽ」のメンバーを中心に広瀬川をテーマに活動しています。仙台市民に愛されている広瀬川ですが、若い世代は意外と広瀬川の良さを知らないのではないのでしょうか？ 広瀬川で楽しいひとときを過ごすことで広瀬川の魅力を再発見するとともに、広瀬川を守ろうとする意識を育んでいきたいと思い、このイベントを企画しました。
38		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。
39	仙台海川国道事務所	広瀬川及び旧穴川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導入施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。(仙台地域水循環協議会にて実施、仙台海川国道事務所は事務局)
40		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。
41		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。
42		みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。
43	仙台北木事務所	中洲・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。
44		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。
45	仙台海川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要箇所順次対応する。
46	仙台北木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
47	国立研究開発法人 土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口溪谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口溪谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができている。
48	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アールワーク仙台～	楽しくウォーキングに取り組み、ウォーキングを通して活動量を増やすイベント。スタンプラリーによるウォーキングイベント。市内の通りのGPSスポットでスタンプを獲得し、抽選で500名の方にデジタルギフト券をプレゼントされる。
49	環境局環境共生課	生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台上ゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会を図ります。
50		四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。
51		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)
52	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。
53	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけます資源の積極的増殖を図る。
54		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。
55	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。 ※現在、広瀬川で近接する橋梁の架け替え工事を実施中であり、架け替え工事完了後は、旧橋の撤去工事(R12年度完了予定)が予定されており、工事が輻輳するため、愛宕堰の改修工事はその後となる予定。現在、橋梁工事の進捗をみながら、県と協議を行っている状況。
56	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業を継続する。
57		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。
58	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。
59	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。
60		西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。
61	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。
62		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力をを行う。
63		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。
64	建設局百年の杜推進課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。
65		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。
66		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。
67		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。
68		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行くこう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。
69		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生係による創生プランの推進。)
70		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。
71		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
72		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。
73		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探検や、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。
74	広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。	
75	#広瀬川 インスタクラブ 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新	① 広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をInstagramをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。 ② 広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。 ③ 定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。
76	東北工業大学 建設局百年の杜推進課	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
77	小田 隆史先生 建設局百年の杜推 進課	「地誌学」学外実習連携事業	小田 隆史先生が東北学院大学で担当する授業「地誌学」の学外実習に協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
78	片平市民センター 建設局百年の杜推 進課	広瀬川界限ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝えていきます。
79		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。